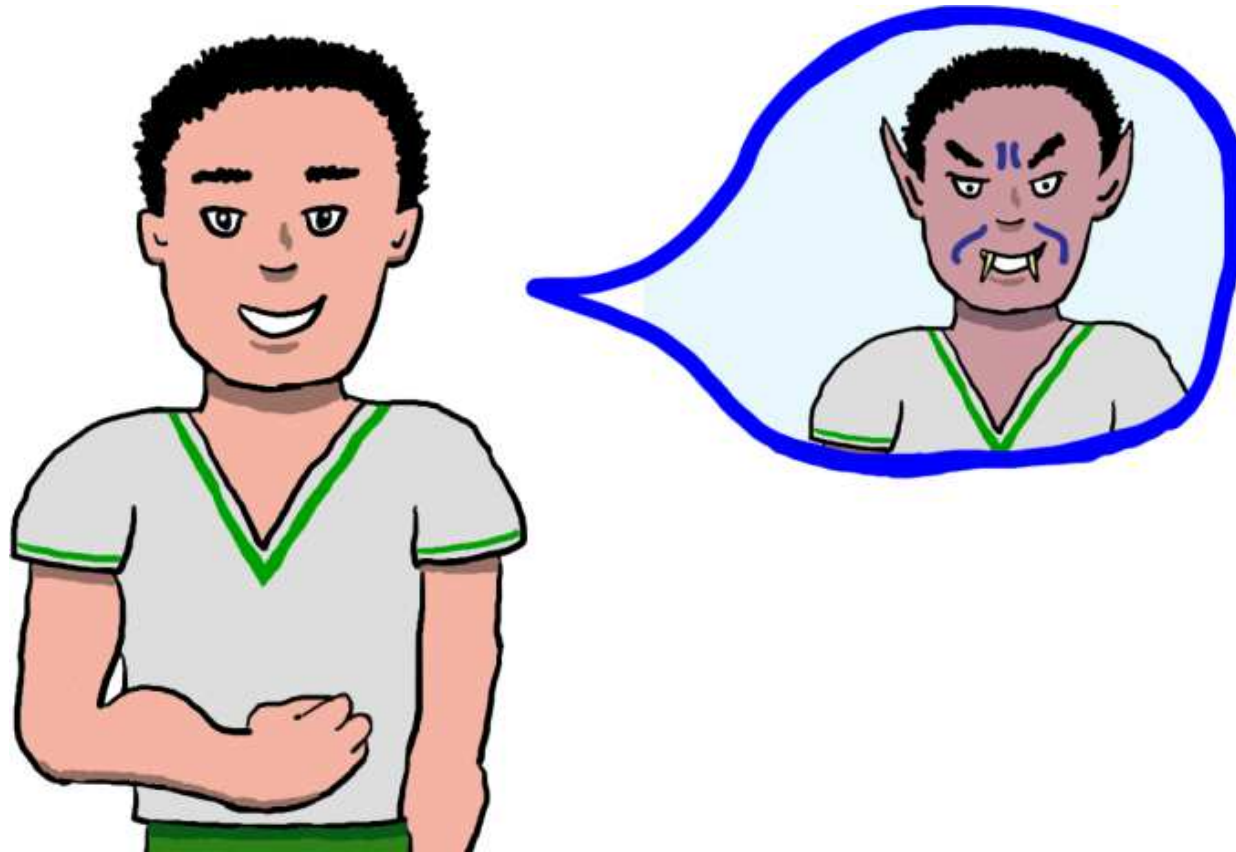


# 罰は再犯を生む



東郷 潤

あるところに、自分を悪人だと信じている人がいます。

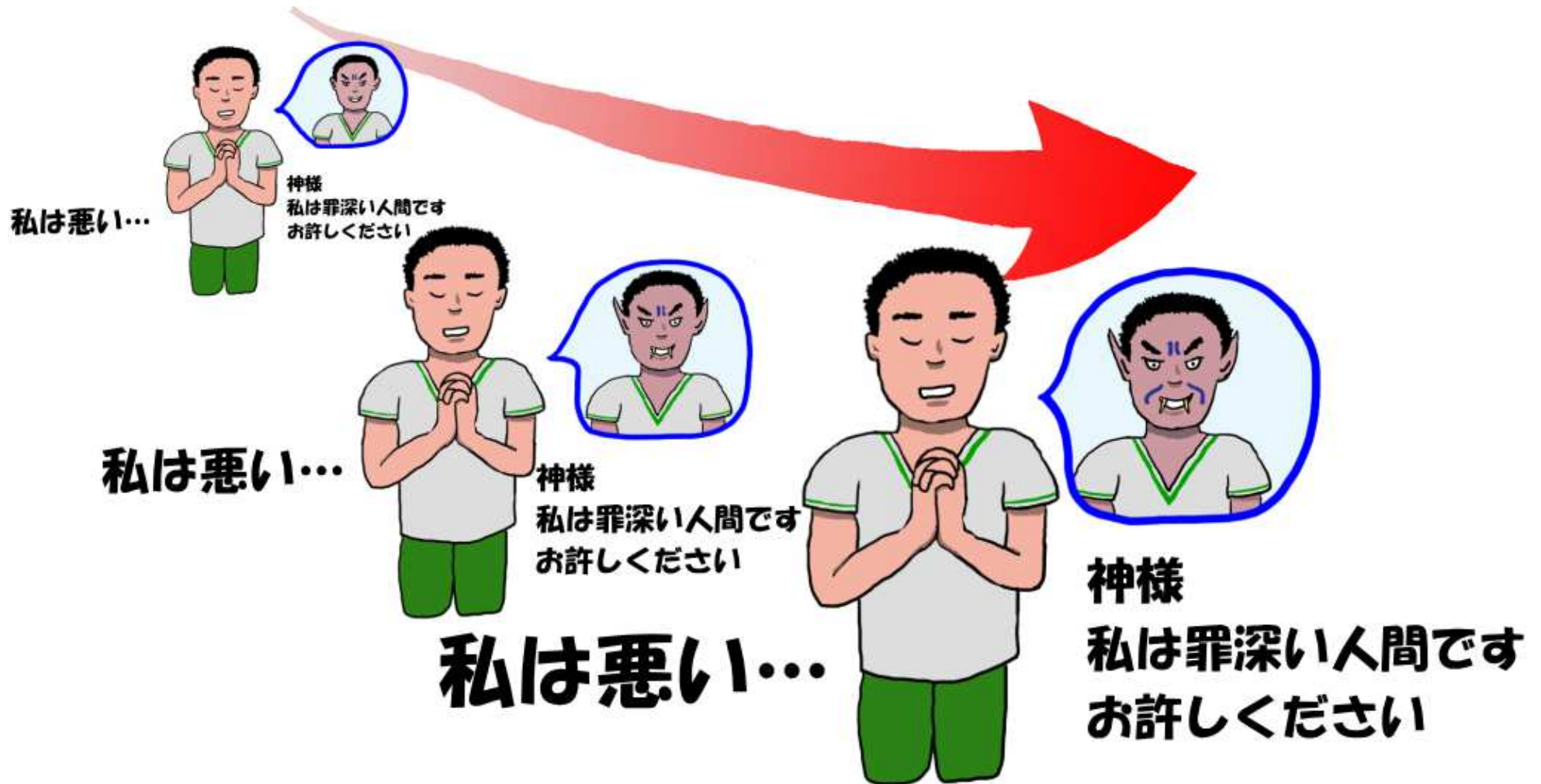


彼はなぜこんな、ひどい自己イメージを持っているのでしょうか？

もしかすると「悪い子！」と子供のころから叱られ続けてきたのかもしれない。



あるいは宗教的な錯覚で、「自分は悪人だ」という自己暗示を長年続けて来たのかもしれませんが。



いずれにしろ自分を悪人だと思ふ人が「悪いこと」をするのは、とても自然なことですね。





さて「悪いこと」をしていれば、逮捕されることもあるでしょう。





**この悪党め！**

あらいざらい、  
とっとと吐け！

犯行は悪質であり、  
同情の余地はない。

根っからの  
悪人だな





数年後、刑期が満了し出所しました。自分を悪人だと思う人が、悪いことをするのは、ごく自然なことです。 彼はすぐまた犯罪を実行しました。



もし罰が、悪なる自己イメージを強めるなら、  
それは次の犯罪の原因となるでしょう。  
時に、より深刻な・・・



## あとがき

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることができます。

[www.j15.org](http://www.j15.org)

©Jun Togo 2017